

第4期室蘭市役所エコオフィスプラン 平成30年度実績について

市では、事業者・消費者として環境への負荷低減に率先して行動するため策定した「室蘭市エコオフィスプラン」の中で二酸化炭素排出量の削減目標を定め、省エネや省資源に取り組んでいます。H30年度の市役所全施設の事務・事業活動に伴う二酸化炭素排出量は次のとおりです。

1. 二酸化炭素 (CO₂) 排出量

単位：t-CO₂

項目	H27年度 (基準年度)	H30年度	増減量 <対基準年度比>	目標 <対基準年度比>
二酸化炭素 (CO ₂) 排出量	31,936	30,681	△1,255 <△3.9%>	R2年度 <▲5%>

H30年度は、全庁的な節電・節暖の継続的な実施、省エネガイドラインによる省エネ化等を推進した一方で、小学校の統廃合や各施設の廃止等（譲渡含む）により各種燃料の使用量が減少したことから、二酸化炭素 (CO₂) 排出量は基準年度と比較して1,255-CO₂ 減少（3.9%減）しました。

【主な施設の排出量増減】 基準年度(27年度)との比較

単位：t-CO₂

施設	H27年度 (基準年度)	H30年度	対基準年度増減量	CO ₂ 排出量の 主なエネルギー種
本庁舎及び広域センタービル	550	595	45	電気
ロードヒーティング	3,102	3,998	896	電気
蘭東下水処理場	2,823	2,589	▲234	電気
市立病院（本院）	5,688	5,056	▲632	重油・電気
入江温水プール	1,056	820	▲236	電気・都市ガス

- 多くの職員が事務を行う本庁舎及び広域センタービルでは、基準年度より冬季の気温が低く、暖房の使用燃料量が増えたことなどにより、45t-CO₂増加。
- ロードヒーティングは、基準年度より冬季の気温が低かったため（-5℃未満の時間が1.1倍増）、稼働時間が多くなり、896t-CO₂増加。
- 蘭東下水処理場は、施設改修に伴い下水汚泥の一部の曝気が不要となり、エアレーションタンクへの空気送付に係る電気使用量が減り、234t-CO₂減少。
- 市立病院は、継続的に照明のLED化を推進したほか、BEMS（ビルエネルギー管理システム）の導入により、自家発電の効率化が図られ、重油使用量が削減されたことにより、632t-CO₂減少。
- 入江温水プールは、H28年12月からエネファームを導入したことにより、電力使用量が抑制され、236t-CO₂減少。

2. 今後のプラン推進への取組について

- 夏季・冬季の節電・節暖対策として、「消灯」「クールビズ」「ウォームビズ」など、取組ごとのCO₂削減量や削減費用を「エコオフィスリーフレット」等に取りまとめ、庁内への周知・啓発を継続することで、省エネ意識の向上と、定着節電量・節暖量の増加につなげていきます。
- CO₂排出量のエネルギー別構成比は、電気使用に伴う排出が約73%と大きいことから、上記節電の取り組みのほか、省エネ対策ガイドラインに基づく照明等の省エネ化を推進し、設備面におけるCO₂削減に取り組めます。



未来のために、いま選ぼう。

「COOL CHOICE」とは、低炭素社会実現のため日本が世界に誇る省エネ・低炭素型製品・サービス、行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。

身近な生活の中で、未来のために今選択できるアクションを選ぶ。

室蘭市は「COOL CHOICE」に賛同しています。